

平成30年 7月30日

報道機関 各位

株式会社 秋田銀行

平成31年3月期 第1四半期 決算のお知らせ

【単体】 四半期純利益 10億69百万円
預金 2兆7千4百億円 過去最高残高

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、7月30日（月）、平成31年3月期（平成30年度）第1四半期の決算を発表いたしました。

1 損 益（単体）

経常収益は、国債等債券売却益や株式等売却益の減少により、前年同期比 18 億 77 百万円減収の 96 億 37 百万円となりました。

本業での利益を示す**コア業務純益**は、役務取引等利益は増加したものの、資金利益の減少により 2 億 85 百万円減少し 16 億 92 百万円となりました。

経常利益は、コア業務純益の減少と与信関係費用の増加により、5 億 4 百万円減少し 14 億 27 百万円となりました。

四半期純利益は、7 億 80 百万円減少し 10 億 69 百万円となりました。（第2四半期（中間期）の純利益予想値である 20 億円に対する進捗率は 53.4%）

2 預金および貸出金の状況（単体）

預金（譲渡性預金を含む。）の期末残高は、個人・法人・地公体からの預金増加により、前年同月末比 695 億円増加し 2 兆 7,463 億円となりました。（増加率は 2.5%、過去最高残高となりました。）

貸出金は、個人ローンや事業先向け貸出の増加により、前年同月末比 400 億円増加し 1 兆 6,639 億円となりました。（増加率は 2.4%）

3 不良債権の状況（単体）

金融再生法開示債権は、前年同月末比 21 億円減少し 327 億円となりました。この結果、不良債権比率は 0.18 ポイント低下し 1.94%となりました。

なお、詳細につきましては、決算短信をご参照ください。

【本件に関するご照会】 経営企画部 主計チーム 大沢（内線 2602）TEL 018-863-1212